令和5年度　第32回全国女性建築士連絡協議会（石川大会）

『守り･育て・受け継がれる技術、手仕事
～伝統工芸と建築～』

基調講演　石川らしい文化でおもてなし
北陸新幹線金沢駅舎は伝統工芸による
「美術館のような金沢駅」

2023.7.29 sat　15:30～17:00 (OPEN　15:20)
金沢市文化ホール 大ホール

伝統工芸が創る「文化の重層」による空間づくりとは

講師　大場 吉美　金沢学院大学名誉教授

1946年金沢生まれ。金沢美術工芸大学・産業デザイン学科卒業後石川県を中心にデザイナーとして、平面から空間デザイン、イベント計画演出まで多様な表現活動を展開し、デザインの啓発に尽力。金沢市民芸術村の創設に係わるほか、金沢21世紀美術館の交流アドバイザー担当となる。数多くのプロデュースや企画デザインを実施すると共に、ニューヨーク、エジンバラ、北京などで、石川のグラフィックデザイン展をコーディネートする。
金沢学院大学名誉教授として、多年にわたりデザイン教育に携わっている。また洋画家として石川県美術文化協会の理事長の任を受ける。

令和5年度　第32回全国女性建築士連絡協議会（石川大会）

『守り･育て･受け継がれる技術、手仕事 ～伝統工芸と建築～』

日本はそれぞれの地域において、古くからの伝統を大切に守り・育て・受け継いできました。
それは、「衣・食・住」それぞれを彩る心と共に絶えることなく現代のくらしの中にも活かされています。その中でも建築はたくさんの時間と人により守り、育て、受け継がれ、空間に美しさや潤いを与え、使い手の心を豊かにしてくれています。それぞれの地域に根付く技術や手仕事について再認識し、更なる活用を模索しながら継承につなげる機会としたいと考えています。

■ プログラム

７月２９日（土）

14:15～14:45　開会式
14:45～15:00　被災地報告
15:00～15:15　活動報告
（休憩）
15:30～17:00　基調講演　講師：大場 吉美 氏
17:00～17:05　第65回全国大会しずおか大会案内
17:15～18:00　交流会

７月３０日（日）

9:00～11:00　分科会（テーマ：A～F）

A：あつまれ～旅好き建築女子！
「魅力ある和の空間ガイドブック」part5
B：「バリアフリーのまちづくり/みんなで考えるバリアフリー」
C：「いばらき木造塾」～伝統技術の継承～
D：「住まい・まちづくりを考えよう」小中学生の住教育出前講座
E：「徳島型気候風土適応住宅」基準策定への取組
F：「灯台が照らし出す未来への道すじ」

11:15～12:00　全体会・閉会式
13:30～16:30　エクスカーション
（伝統工芸体験、建築物見学など）

※　建築士会会員以外の方でエクスカーションに参加を希望される方は事務局にお問い合わせください

■ アクセス

金沢市文化ホール

設計　芦原義信＋谷口吉郎建築研究所
1982年竣工

所在地　石川県金沢市高岡町１５－１
TEL　076-223-1221

JR金沢駅より
タクシー約10分　バス約15分
金沢駅前（東口バスターミナル）
「南町・尾山神社」下車 徒歩約3分

会場アクセス

■ 参加費

建築士会会員　会場参加：￥3,000　Web参加：￥1,500
一般（会員以外）　会場参加：￥4,000　Web参加：￥2,500
学生：無料

■ 参加申込み

建築士会会員の方は、所属の都道府県建築士会女性委員会宛にお申し込みください
一般（会員外）の方、学生の方は、６月９日（金）までに公益社団法人日本建築士連合会宛に下記FAXまたはメールにてお申し込みください　分科会の希望は第2希望までお書きください

氏名・ふりがな	連絡先	e-mail	種別	参加方法	分科会第1希望	分科会第2希望
			一般・学生	会場・web		
			一般・学生	会場・web		

企画・主催・問い合わせ先
公益社団法人日本建築士会連合会 事務局
TEL：03-3456-2061　FAX：03-3456-2067　E-mail jigyo1@kenchikushikai.or.jp

資料 3

令和５年度　第 32 回全国女性建築士連絡協議会（石川）

開催会場案内図

7 月 29 日（土）

・全国女性委員長（部会長）会議　　12：00～13：30　金沢市文化ホール 大ホール

・令和５年度 第 32 回全国女性建築士連絡協議会 14：15～17：05　金沢市文化ホール 大ホール

・交流会　　17：15～18：00　金沢市文化ホール 大ホール

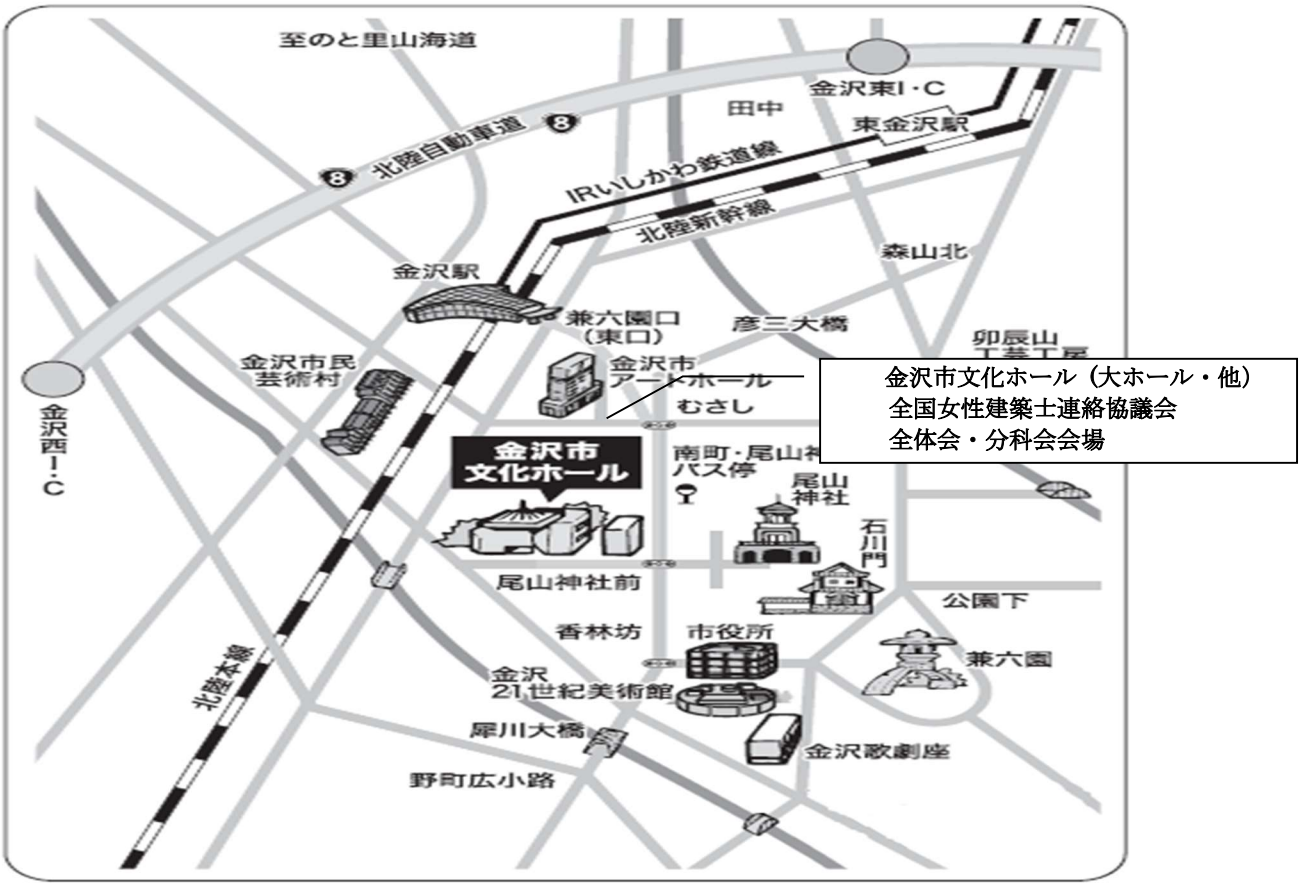
7 月 30 日（日）

・分科会　9:00～11:00　①金沢市文化ホール　会議棟

A 分科会	会場未定	D 分科会	会場未定
B 分科会	会場未定	E 分科会	会場未定
C 分科会	会場未定	F 分科会	会場未定

・全体会 11:15～12:00　①金沢市文化ホール 大ホール

※　分科会会場については、各分科会の参加者数が確定後に発表いたします。



●JR 金沢駅からのアクセス　タクシー約 10 分、バス約 15 分

＜バス＞金沢駅前（東口ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ）3 番・8～11 番のりば「南町・尾山神社」下車　徒歩約 3 分
※バスに関する詳細「北鉄バステレホンサービスセンター」TEL：076-237-5115

●小松空港からのアクセス　空港連絡バスで金沢駅まで 約 40 分

資料２

令和５年度　第 32 回全国女性建築士連絡協議会（石川）分科会概要一覧

分科会名称	ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ	概要
Ａ分科会 あつまれ～旅好き建築女子！　「魅力ある和の空間ガイドブック」part５	松本あい子 （群馬県建築士会） 村上良枝 （香川県建築士会）	連合会女性委員会では、2016 年から『和の空間』をテーマに取組み、「魅力ある和の空間ガイドブック（WEB 版）」全 273 件を同委員会ＨＰにて公開しております。 全国大会の女性セッションでは過去４回にわたり掲載施設を紹介してきましたが、今回は現在も飲食店や宿泊、交流施設などで活用されている建物を発表して頂きます。 古い建物をリフォームし開店、営業するということはとても大変なことです。オーナーになった経緯や思い、またそこでしか見られない景色、近隣情報など建物の魅力と共にご紹介して頂きます。ぜひ次回の旅の計画の参考にして頂き、今後の設計、住環境づくりにお役立て頂ければと思います。
Ｂ分科会 「バリアフリーのまちづくり／みんなで考えるバリアフリー」	佐藤玲子 （福島県建築士会） 佐藤由香利 （福島市観光コンベンション協会職員）	建築士と、福島市の観光案内所職員としてバリアフリーの観光案内をし、自身も障がいのあるコメンテーターが、二人三脚で県内外の観光地をバリアフリーチェック。障がいのある方は観光に何を期待し、何に不安を抱いているのか、バリアフリーの観光案内をする彼女だけがその消費者動向（需要）を知っています。その情報を発信し観光客誘致につなげるため、マニュアル通りではなく利用者の困り感を共有した上で、バリアフリーな建物やまちづくりを提案しています。これまでの活動を振り返りながら、多様性尊重社会に向けたバリアフリーを、みなさんと共に考えていきたいと思います。
Ｃ分科会 「いばらぎ木造塾」 ～伝統技術の継承～	篠根　玲子 （茨城県建築士会） 轡田　久恵 （茨城県建築士会）	「本当に良い家とは何か」「住まい手が幸せに暮らせる住宅とはどんなものか」――　をしっかりと学び、その知見を世に広めていくことが、住宅に携わる建築士の使命ではないかと考えています。そういった観点から、木造建築や木材等に関する技術・知識を習得し、木造住宅の設計に精通した建築士を育成する目的で開講されたのが「いばらき木造塾」です。講座は、「講義」「演習と課題」「実習」に分かれ、間取りの設計や木構造を理解しながら、地盤、基礎、軸組、各伏図、内外仕上げ、省エネ、設備、外構などについて学びました。このような「建築士の育成」の取り組みをご紹介したいと思います。 また、「いばらき木造塾」の講座終了後、受講生が中心となって立ち上げた『和文化研究会』の活動についても紹介します。

D分科会 「住まい・まちづくりを考えよう」 小中学生の住教育出前講座	竹田　敦子 （大阪府建築士会）	住まいやまちづくりに関する教育を通し、子供たちが自分をとりまく住環境に興味と関心を向け、日常生活の中で自主的な判断力・行動力を育むきっかけとなるよう、小中学生に向けた出前講座を行ってきました。 平成 15 年から現在まで、延べ 183 校に出向いた実績により、2020 年には日本建築学会教育賞を受賞しています。 ユニバーサルデザインや熱環境、防災やユメのまちづくりなど、クイズや体験学習、工作を取り入れ、楽しく理解を深めてもらう取り組みを紹介します。
E分科会 「徳島型気候風土適応住宅」基準策定への取組	島田　めぐみ （徳島県建築士会）	『建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律』(建築物省エネ法）の改正により、2025 年には全ての新築住宅に対して外皮基準適合義務化、更に 2030 年には適合規準の引き上げが示されました。 これに伴い、外皮性能への適合が困難であると考えられる伝統的構法については、令和元年告示 786 号に明示された仕様により「気候風土適応住宅」として認められるものについては、外皮基準の適応が除外されることとなりました。伝統的構法の継承に配慮しつつ徳島県独自の気候風土適応住宅として残すべき認定構法等の仕様策定への（公社)徳島県建築士会の取り組みを紹介します。
F 分科会 「灯台が照らしだす未来への道すじ」	小関公香 （大分県建築士会）	九州の東部大分県と四国の西部愛媛県の海峡で北は瀬戸内海と南は太平洋に接する豊後水道の最も狭くなった部分の豊予海峡（速吸瀬戸）は潮の流れが速い難所です。ここに面する大分県佐賀関半島の岬に明治時代に建設された鉄造りの「関埼灯台」を地域活性化の核にしたいと大分市文化財課からの委託を受けて令和 3 年初めよりヘリテージマネージャーを中心に調査報告後、令和 4 年に「登録有形文化財」に指定されました。秋に地元のまちづくりを取り組む方々と一緒に、国内外の灯台を研究する先生を大分にお招きして登録記念イベントを開催しましたので、このような取り組みからつながるお話をお伝えしたいと思います。

第 32 回全国女性建築士連絡協議会(石川大会)

エクスカーションのご案内

R5 年７月 30 日（日）13：30～　　約 3.5 時間

「伝統工芸体験」と「石川県立図書館の見学」

１コース　金沢表具体験（インテリアパネル作成）　参加費 3,000 円　定員 10 名

金沢市文化ホール →(タクシー)→ 金沢職人大学校 →(タクシー)→ 金沢市文化ホール

県内表具職人たちが研究会を結成し、「雪吊り」、「加賀野菜」や金沢町家特有の格子「木虫籠」など金沢らしい模様や素材を用いデザインし、2013 年にブランド化された「金沢からかみ」でインテリアパネルを作成します。伝統工芸の金沢表具に触れていただく貴重な機会です。

２コース　加賀水引体験　参加費 2,000 円　定員 12 名

金沢市文化ホール ＝＝＝(徒歩 10 分) 蒼風庵 ＝＝＝(徒歩 10 分) 金沢市文化ホール

加賀水引は、平面的だったものを立体的な水引細工・織型に仕上げたことで全国に知れ渡りました。美しい色の水引をつかってアクセサリーを作ります。普段使いはもちろん晴れの日もお使いいただけます。

また会場の「蒼風庵」は築 90 年の金澤町家です。間取り、木製の建具、調度品など当時のものも残っています。こちらもお楽しみください。

３コース　加賀友禅体験　参加費 2,000 円　定員 20 名

金沢市文化ホール →(タクシー)→ 茜や →(タクシー)→ 金沢市文化ホール

加賀五彩（臙脂、藍、黄土、草、古代紫）の濃淡を使い分け、花や鳥など自然をモチーフにした古典的な図案で描かれる加賀友禅。模様を写実的にみせる「外ぼかし」と「虫食い」を特徴にもつ、「加賀友禅」工程のひとつである彩色を体験していただきます。

加賀友禅の作業工程の解説付きです。

４コース　呈茶体験　参加費１,000 円　定員 20 名

金沢市文化ホール　＝＝＝（徒歩 15 分）　金沢城公園 玉泉庵など　＝＝＝（徒歩 15 分）　金沢市文化ホール

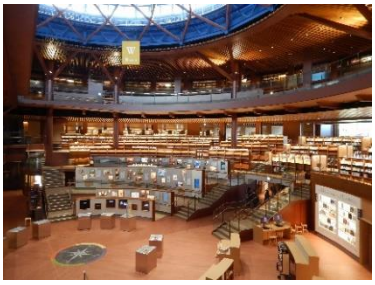
「魅力ある和の空間ガイドブック」でも紹介されている金沢城公園玉泉院丸庭園、 玉泉庵にご案内します。「庭屋一如」庭と一体化した空間でお茶をいただきます。石川県産、城内産の素材･材料がふんだんに使用された和室からの庭園の眺めをぜひご堪能ください。

［ルート］文化ホール→尾山神社→鼠多門橋･鼠多門
→玉泉院丸庭園→五十間長屋･菱櫓→文化ホール

５コース　石川県立図書館　見学ツアー　参加費（交通費）１,200 円　定員 50 名

金沢市文化ホール　→（貸切バス）→　石川県立図書館　→（貸切バス）→　金沢市文化ホール

昨年7月に開館し、”美しい図書館”として話題の石川県立図書館。
本のページをめくるイメージの外観、円形劇場のような大閲覧空間、工夫された図書の配架、厳選された家具など見どころ満載です。また、館内には伝統工芸の壁面装飾や伝統工芸作品の展示もあります。整備に携わった石川士会のメンバーが整備時のエピソードも含めて概要をご説明します。
（概要説明後、館内は自由見学となります。）



ご　注　意　と　お　願　い

＊各コース共、金沢市文化ホール正面玄関から出発となります。（昼食を済ませてから集合してください。）

＊**参加ご希望の方は、全建女参加申込書の「エクスカーション」欄に、希望のコース番号を第２希望までご記入ください。**希望が偏った場合、ご希望に添えない場合があります。ご了承ください。

＊参加費は事前振込みとなります。コース決定後、お振込の案内を致します。お振込みいただいた参加費は、返金いたしかねますのでご了承ください。

＊動きやすい服装・靴にて参加をお願いします。また帽子等の暑さ、日差し対策もよろしくお願いします。

＊エクスカーション参加者のお荷物は、金沢市文化ホールにエクスカーション終了時までお預かりも可能です。ただし、貴重品は各自お持ちください。

＊道路混雑状況により帰着場所への到着が遅れる場合があります。

＊介助が必要な方、幼児同伴の方は、申込書備考欄に記載お願いします。コースによっては参加が難しいものもありますので、後日ご相談させていただく場合があります。

追加資料

託児について

下記のとおり託児室を設けます。(事前申込み必要)

●期間：7/29（土）全国女性委員長（部会長）会議～交流会終了まで
7/30（日）分科会～全体会終了まで
※エクスカーション時はございませんのでご了承ください。

●場所：金沢市文化ホール館内

●対象：全建女に参加する建築士会会員に同伴する子（６か月～小学校低学年まで）

ご希望の方は、日本建築士会連合会事務局にお問い合わせください。
また、併せて参加申込書の備考欄に「託児希望」と記入をお願いします。